

洞爺湖温泉で盆踊り 浴衣姿も映える

洞 爺湖温泉夏祭り（洞爺湖温泉夏祭り実行委員会主催）が、洞爺湖汽船本社前特設会場で、7月25日～8月16日まで開催されました。

焼き鳥や射的、輪投げなどの露店が並ぶ縁日もオープンされ、浴衣姿の住民や観光客でにぎわいました。

期間中の8月1日～15日まで、盆踊り大会が繰り広げられ、9日には子供盆踊り大会、14日は仮装盆踊り大会を実施。子どもから大人まで多くの人に参加して、やぐらを

取り囲み、北海盆歌や洞爺湖音頭の唄に合わせて楽しく踊りました。



洞爺湖の夏を盛り上げた盆踊り大会

夏 休みに相互交流を行っている箱根町から、箱根町親善訪問使節



カヌーを楽しむ中学生たち

団（団長・漆谷義和箱根中学校教頭）が、8月4日から2泊3日の日程で洞爺湖町を訪れました。来町したのは箱根町の中学3年生6人と引率者2名。

歓迎式では、真屋町長が「短い期間ですが、洞爺湖町を楽しんで行ってください」と挨拶し、生徒を代表して、箱根中の千嘉虜良君が「自然とどう向き合っていけばいいのかそのヒントをみつけていきたい」と決意を述べました。

洞爺湖ビジターセンターなどの施設見学やカヌー体験などを行い、地元中学生と交流を深めました。

変わらぬ交流 箱根町親善使節団来町

8 日の薬師の日にちなみ8月8日「薬師の日湯かたまつり」（湯前薬師如来奉賛会主催=朝倉英隆会長）が、足湯ポケットパークで開かれました。



焼香を行う朝倉会長

同パーク内にある「湯前薬師如来堂」前で行われた法要では、約30人が参列し、洞爺湖温泉の繁栄と安全を一人ひとりが祈願。朝倉会長が「皆さんと一緒に大切な行事として、このおまつりを守っていきたい」と挨拶し、法要を終了しました。

会場には、焼き鳥やハンバーガーなどの露店も並び、ジョッキを傾けながら、夏の洞爺湖を楽しみました。

温泉街の反映を祈願 薬師の日湯かたまつり

町内のリーズナブルショップウロコ前に、8月10日ベンチが設置され、買い物帰り



寄贈された木製ベンチ

にバスを利用するお年寄りたちに喜ばれています。

「座るものがあれば楽だね」という買い物客の皆さんの声を聞き、西山散策路の整備などボランティア活動を積極的に行っている洞爺湖町建設協会（加藤恵蔵会長）が、寄贈したものです。

ベンチは、高さ40センチ、長さ1メートル80センチ、奥行き60センチの3人掛け木製です。

赤川橋バス停にベンチ設置 洞爺湖町建設協会が寄贈

まちのわだい

